



▲完成した合川小学校の校舎と体育館（写真左）



▲理科室



▲普通教室



▲校舎の南側



# 木の温もりあふれる 学び舎完成

# 新生

▲地元産の木材をふんだんに使い、明るい光が差し込む多目的ホール



▲体育館の2階ホール



▲パソコン室



▲竣工式で式辞を述べる津谷市長



▲竣工式で元気に校歌を斉唱する児童



▲体育館

市立合川小学校（藤嶋勇人校長・児童242人）の竣工式が、4月8日に同校体育館で行われ、児童や教職員、地域住民、工事関係者などが出席し、木の温もりあふれる新校舎の完成を祝いました。

市では、平成19年度に策定した小学校再編計画に基づき、より良い教育環境の充実に取り組んでいます。合川地区では、平成24年に合川西小学校と合川南小学校が先行統合し、旧合川西小学校の校舎を使用して合川小学校として開校。平成27年4月からは、合川東小学校と合川北小学校が加わり、新生合川小学校として誕生しました。

新校舎の建設は、平成23年度の基本設計から始まり、平成27年3月までに鉄筋コンクリート造り2階建ての校舎と鉄骨造りの体育館、グラウンド、外構、駐車場が完成。校舎は延床面積4156・19平方メートルで、普通教室12室、特別教室7室、多目的ホール、会議室、校長室、保健室等が、体育館は延床面積1423・5平方メートルでアリーナ、ミーティングルーム、トイレ、更衣室を備え、内装には地元産の木材がふんだんに使われています。また、校舎の屋上には太陽光発電パネルを設置し、環境教育や災害時の非常用電源としても活用されます。

式典で津谷市長は「本日ここに、次代を担う子どもたちの教育の場としてふさわしい立派な校舎が完成した。児童の皆さんは、この校舎で合川小学校の新しい歴史を刻み、友情を深めながら勉学にはげみ、未来に向かって大きく羽ばたいてほしい。また、校長はじめ教職員の皆さんには、地域から愛される学校に育てていただくようお願いする」と式辞。続いて、庄司弘県教育庁北教育事務所長が「新しい体育館とグラウンドで心と体を鍛えてほしい」、松尾秀一市議会議長は「合川地区のすべての児童が勉学に励む環境が整った」などと祝辞を述べた後、校舎用地提供者に感謝状が贈呈されました。

最後に、全員で校歌と北秋田市民歌を斉唱し、新校舎での新たなスタートを祝いました。

# 合川小学校誕生